

薬 剤 部

退院後のアドヒアランス維持に注力した。看護部とともに服薬管理評価項目を作成したことにより、適切な管理方法を両職種で共有可能となった。入院中の服薬管理トレーニングと家族も含めた退院時薬剤情報管理指導を増加させた（図1）。

PBPM（Protocol Based Pharmacotherapy Management）により薬剤師による代行オーダーを継続し、医師の負担軽減と処方提案で薬物治療の適正化に貢献した（図2）。

「働きやすい職場」を目指し、部内アンケートを実施した（図3）。残業の多さと業務分担の偏りに着目し、調剤業務内容の見直しを図った。

【人員体制】（2018年4月1日現在）

薬剤師	41名
事務職員	3名
パート助手	1名

【認定資格】

がん薬物療法認定薬剤師	2名
外来がん治療認定薬剤師	1名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
救急認定薬剤師	1名
小児薬物療法認定薬剤師	1名
認定実務実習指導薬剤師	4名
日本糖尿病療養指導士	4名
NST 専門療法士	5名
医療情報技師	1名

【調剤業務】

	総合病院	クリニック
院外処方率	69.1%	90.6%

入院調剤処方せん枚数	72,230	枚
入院注射処方せん枚数	129,628	枚
透析院内処方せん枚数	3,298	枚
老健院内処方せん枚数	4,984	枚

無菌製剤処理料 2（1以外のもの）

件数	3,001	件
金額	1,200,400	円

無菌製剤処理料 1（その他）

件数	953	件
金額	428,850	円

無菌調製処理量 1（閉鎖式接続器具）

件数	135	件
金額	243,000	円

【病棟業務】

薬剤管理指導	10,945	件
年間金額	37,245,200	円
退院時服薬指導件数	4,422	件
年間金額	3,979,800	円
病棟薬剤業務実施加算 1	608	件
病棟薬剤業務実施加算 2	2,005	件
年間金額	2,212,000	円

【薬学生実務実習受入】

受け入れ数	27	名
実習料	7,629,849	円
岐阜薬科大学	20	名
愛知学院大学	1	名
名城大学	3	名
金城学院大学	2	名
鈴鹿医療科学大学	1	名

〔文責：松本利恵〕

